



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 澁澤倉庫株式会社
代表者名 取締役社長 今井 恵一
(コード番号 9304 東証第一部)
問合せ先 総合企画部長 佐瀬 正文
(TEL 03-5646-7263)

澁澤グループ中期経営計画「Step Up 2019」の策定について

当社は、2013年5月に2017年3月期を最終年度とする中期経営計画「Step Up 2016」を策定し、収益力向上と成長力強化を基本方針として進めてまいりました。2017年3月期の実績は、中期経営計画「Step Up 2016」で掲げた業績目標に対して、営業収益、営業利益では僅かに目標に届かなかったものの、経常利益、営業利益率については目標値を達成することが出来ました。

日本経済は緩やかな回復の一方で労働需給の逼迫が進み、海外においては経済のグローバル化の進展とそれに対する批判の高まりなど、当社を取り巻く事業環境は引続き大きな変化が予想されます。当社として、これら事業環境の変化に的確に対応し、収益力を高め、経営基盤をより一層強固なものとするため、2019年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Step Up 2019」を策定いたしました。

I. 基本方針

創業120周年の節目の年を越え、次なる10年へのスタートにあたり、当社の企業理念である「チャレンジ・クリエイト・コオペレイト」の原点に今一度立ち返り、将来の飛躍に向けた新しい取り組みへの挑戦を通じて、収益力向上と成長力強化を果たし、特色ある物流企業としての地位を確固たるものにすることを目指します。

II. 事業戦略

(1) 国内物流事業における消費財物流の拡充と高付加価値業務の拡大

前中期経営計画で進展のあった消費財向け物流センター運営について、戦略的な拠点拡充を進めることで更に競争力を強化するとともに、流通加工等付加価値の高い業務の一層の拡大を目指します。

(2) 海外物流事業における中長期の成長に向けた事業基盤の強化

中国、東南アジアにおける既存海外拠点での収益モデルを確立し、日本と現地の一体となった営業推進体制により現地国内物流など業容の拡大を進め、競争力のあるサービスの拡充により、より安定的に収益、利益が拡大出来る体制を構築して行きます。

(3) 不動産事業における資産価値向上と収益基盤の強化

保有資産の適切なメンテナンスと高品質なビル管理サービスの提供により、既存の賃貸用不動産の資産価値向上を図るとともに、将来の新規資産の取得も視野に入れ、テナントのニーズに的確に対応し、収益基盤の強化を目指します。

(4) 経営基盤の強化促進

前中期経営計画で改善のあった財務体質の一層の強化に努めるとともに、コンプライアンスの徹底やコーポレートガバナンスの強化により公正性、透明性、機動性の高い経営を実現します。また、長期的な視野に立った人材の育成および人材の有効活用により、経営基盤の強化を図り、株主利益の向上を目指します。

Ⅲ. 業績目標

本中期経営計画は、2017年度（平成29年度）を開始年度、2019年度（平成31年度）を最終年度とする3ヵ年計画とし、2019年度の連結業績として次の目標数値を達成します。

営業収益	670億円
営業利益	40億円
経常利益	40億円
営業利益率	6.0%

<参考>

2016年度(平成28年度)との比較

	2019年度 (平成31年度)	2016年度 (平成28年度)	2016年度比	
			(増減額)	(増減率)
営業収益	670億円	580億円	+90億円	+15.5%
営業利益	40億円	34.0億円	+6.0億円	+17.6%
経常利益	40億円	34.1億円	+5.9億円	+17.3%
営業利益率	6.0%	5.9%	+0.1ポイント	—

※2016年度は2017年3月期決算数字

以 上